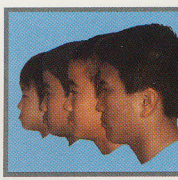
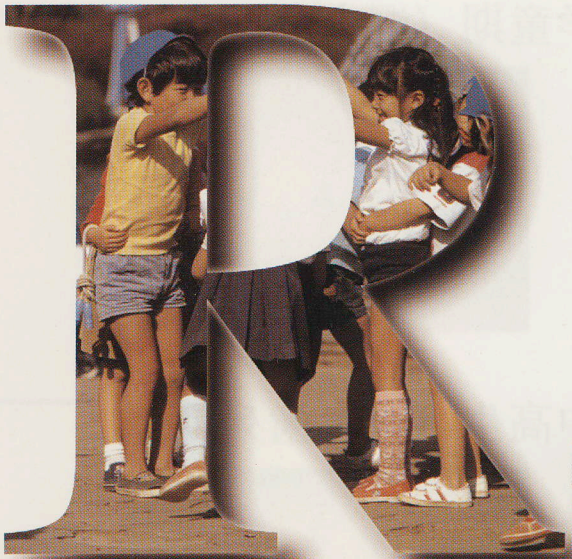
Recall

定期健診のおはなし



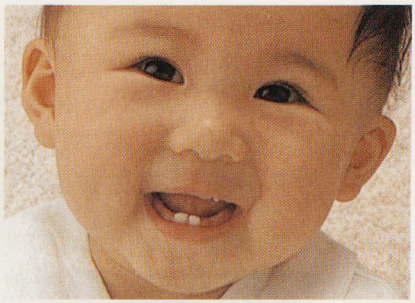
あなたの街の小児歯科



Recall

日本小児歯科学会

・乳児期

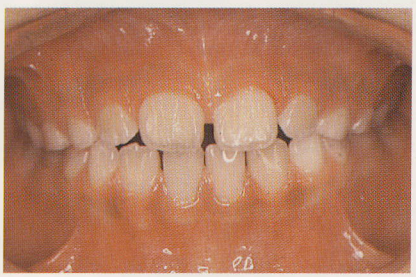


お子さんの成長は両親の大きな喜びです。赤ちゃんの健康を保つためにも栄養を摂取するお口の働きはとても大切です。哺乳期から離乳期を経て、幼児食へと移行する食べる機能の習得は、成長を見守る両親の一番の心配事です。私たち小児歯科医は子供たちの食べる機能（摂食機能）の発達を応援しています。

・幼児期（乳歯列期）

お口の中にきれいに並んだ小さな乳歯。この歯の働きは永久歯に生えかわるまでの間、とても重要な役割を果たします。私たち小児歯科医は子どもたちの乳歯をむし歯や歯肉炎などから守り、健全な永久歯が生え揃うまでの道案内を引き受けます。ぜひ定期健診を受診され健康な口を守ることをお薦めします。

・学童期（混合歯列期）



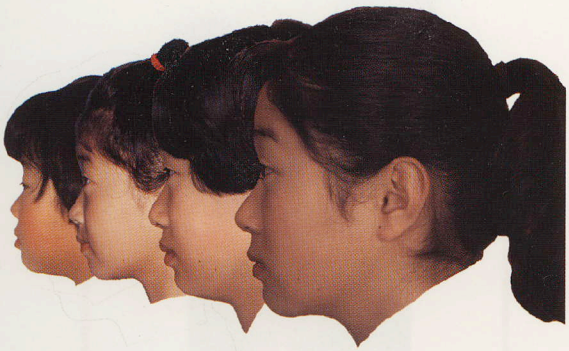
小学校の１年生から６年生までの６年間に、乳歯はすべて永久歯に生え換わります。歯並びの異常やむし歯のできやすい最も危険な時期です。健康で美しい歯並びの永久歯になるために小児歯科医は応援しています。

口の中で歯が生えかわる大切な時期です。ぜひ小児歯科医にご相談下さい。

・中高生（永久歯列期）

きれいに萌え揃った永久歯列、ここまでくれば一安心。しかし、中・高生は生活習慣が最も乱れる時期なのです。そのため、むし歯をはじめ歯周病（歯ぐきの病気）やあごの関節の異常も多く見られる時期です。この時期には半年に一度の定期健診が欠かせません。

定期健診のすすめ

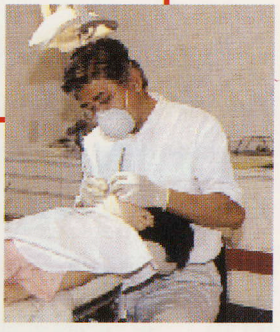


Check
Check
Check

お子さんは日々成長しています。それに伴ってお口の中も大きく変化しています。健康で美しい歯並びの永久歯を育成するためには、定期的なお口のチェックが欠かせません。乳歯のむし歯が、永久歯や将来の歯並びまで悪い影響を及ぼすことも少なくありません。むし歯や歯並びの問題を早期に発見し治療することは、子どもの口の健康にとってとても大切なことです。

子供たちの口の健康を回復し、維持していくことは、小児歯科医の役目です。子ども保護者、そして小児歯科医がともに歩く定期健診が大切です。

トータルヘルスケア



口の健康を保つことは全身の健康を保つうえで大変重要です。そのため、小児歯科医は子どもたちの健康を守り育てるため、小児科医や内科医、他の専門歯科医と連携・協力して最善の医療を提供します。子供たちの全身の健康を管理する上で、大切な医療チームの一員として、小児歯科医は重要な役割を果たします。